

令和5年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	71.6				77.0					80.0
実績					73.7					
指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	24.1				39.0					50.0
実績					26.4					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
すみだ北斎美術館については、平成28年11月の開館以降、来館者数は目標を大きく上回り推移していたが、令和2・3年度はコロナの影響で減少している。コロナ収束に伴い来館者数を回復できるよう、今後も、継続的に北斎の魅力を伝える展覧会事業やイベント等の充実を図っていき、施設の適切な管理運営に努めていく。	R2	520,084
また、平成26年より開始した寄付キャンペーンについては、令和4年度は寄付目標額を上回り、約10億円の寄付を募ることができた。今後も、美術館の管理運営、資料収集等に充てることを目的に、継続して実施する。	R3	632,899
北斎作品(浮世絵)の収集活動は、文化財保存の観点からも、発展的円滑な事業運営からも必要であり、可能な限り自館の収蔵資料数を増やせるよう収集に努めていく。	R4	699,144
大江戸すみだ職人展は、来場者を増やすことを目的に、特に30年度から、北斎美術館に実施場所を変更しプロモーションを工夫したことにより、来場者の客層や数に変化があったと感じている。今後は海外からの観光客にも訴求できるような施策も講じながら事業を継続していきたい。		

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	すみだ北斎美術館は、新型コロナウイルスの影響により来館者数は目標値を下回ったものの、メディア掲載数は一定以上あり、コロナ禍においてできることを最大限実施し、情報発信を継続している点の評価した。今後については、来館者が増えるよう、努力していきたい。そのためには、企画展や教育普及活動等にて、よりすみだ北斎の魅力を発信していく必要がある。また、令和4年度の寄付キャンペーンは、返礼品を拡充したこと等により、目標額を大きく上回る約10億円の寄付金を集めた点の評価した。 大江戸すみだ職人展は、令和元年度に実施場所の変更やプロモーションを工夫(北斎美術館における実施、職人による実演や工芸品展示のほか、職人・制作品を紹介するパネルの展示と工芸体験の実施など)したことにより、コロナ禍にありながらも一定の来場者を獲得できていると感じている。令和4年度は墨田区観光協会などの協力も得ながら、墨田の職人文化を広く伝えることができたことから、今後も行うべき事業として評価した。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
すみだ北斎美術館を区の文化創造や地域活性化につながる施設になるよう、資料の収集保存、展示、情報提供、教育普及の事業活動を通じて地域文化の継承と発展の場として運営するため、今後も計画的な資料収集と美術館運営及び北斎に関するPRを行っていく必要がある。	
大江戸すみだ職人展は、令和2年度は感染症拡大防止のため中止になったが、平成30年度に会場を北斎美術館に変更し、開催日時を北斎美術館の企画展に合わせたことで実施結果が良好だった。今後も、関連事業や施設との親和性も考慮し、相乗効果を最大限に発揮できるように取り組んでいきたい。	
【今後の具体的な方針】	
すみだ北斎美術館の円滑な事業運営を行うとともに、引き続き資料収集や寄付キャンペーンを行っていく。また、北斎及び北斎美術館について、国内外に向けて情報発信を継続して行っていく。	
大江戸すみだ職人展は、来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるので、今後はより職人技の魅力を伝えるため、文字だけでなく、トークセッションなどで技術のライブ解説の導入も検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	すみだ北斎美術館管理運営	248,673	4,089	252,762	98,000	現状維持
					90,466	令和4年度
2	すみだ北斎美術館寄付 キャンペーン事業	449,531	8,179	457,710	300,000	現状維持
					973,521	令和4年度
3	大江戸すみだ職人展事業	940	4,907	5,847	2,000	現状維持
					2,340	令和4年度
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和5年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	すみだ北斎美術館管理運営費		1
目的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、すみだ北斎のPR及び関連事業の充実を図る。		主管課・係(担当)
			文化芸術振興課文化芸術担当 03-5608-6115
対象者	区民及び本区への来街者、北斎に関心のある層		
根拠法令 関連計画			
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤職員3・墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体
事業内容	本区で生まれた世界的絵師・葛飾北斎を区民の誇りとして顕彰する「すみだ北斎美術館」の管理運営を行い、区民が文化・芸術にふれる機会を創出するとともに、文化・産業・観光等の地域活性化の拠点として展開する。		
経過	開始年度	平成28年度	終了予定
	未定		
経過	平成27年度 指定管理者決定 平成28年度 建築竣工、11/22開館 平成29年度 開館1年目の目標来館者数20万人達成(4月) 平成30年度 来館者数50万人達成(7月) 令和元年度 来館者数75万人達成(1月) 令和3年度 来館者数85万人達成、開館5周年(11月) 令和4年度 来館者数90万人達成(7月)		
議会質問 の状況	令和4年3月 予算特別委員会 北斎美術館が公開承認施設を目指すということで、重要文化財以上の展示を3回やらなきゃいけないということで、スケジュールどおりうまくいくのかなということを、期待しつつ心配もしているわけございまして、順調に推移しているのかを確認したい。 (答弁)公開承認施設の申請前に3回重要文化財を展示するというのが一つの要件になっておりまして、1回は筆魂のときに岩佐又兵衛を公開させていただきました。今、文化振興財団と丹青社のJVですけれども、指定管理の5年間の中で2回行うという提案が出ておりまして、我々もその計画の中できちんとできるということを、確認をしながら進めているところございまして、この点は間違いなくできるように進めたいと思っております。		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		200,079	190,640	247,563	241,365	254,914	243,643
A.決算額(令和5年度は見込み)		195,805	185,279	212,841	232,573	248,673	243,643
財源	国						
	都						
	その他	99,928	89,285	95,437	94,949	148,372	143,273
一般財源		95,877	95,994	117,404	137,624	100,301	100,370
執行率(%)		97.9%	97.2%	86.0%	96.4%	97.6%	100.0%
B.人コスト		4,922	4,369	4,411	4,398	4,089	
総事業決算額(A+B)		200,727	189,648	217,252	236,971	252,762	
予算書P(令和5年度)	P121 6-1	執行実績報告書P(令和4年度)			P55		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	委員謝礼	188	報償費	委員謝礼	188	報償費	委員謝礼	304
委託料	指定管理料外	168,677	委託料	指定管理料外	218,636	委託料	指定管理料外	242,920
備品購入費	資料取得費	19,200	備品購入費	資料取得費	29,549			
損失補填及び賠償金	休館による損失補填	44,215						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	メディアへの掲載数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		60	R7	目標	60	60	60	60
				実績	73	102	78	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	60	60	60	60	60	60
		実績	107	108	75			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北斎美術館のメディアへの掲載数で、宣伝・広報の成果を図る指標となるため。目標値については、来館者数が安定していき中でも、高い注目度を集めるべく本数値に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	すみだ北斎美術館への来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		95,000	R7	目標	80,000	321,000	220,450	171,000
				実績	177,707	262,634	177,188	157,034
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	172,000	180,000	98,000	95,000	95,000	95,000
	実績	45,070	56,978	90,466				
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民をはじめ、区外及び海外からの来訪者が、どれだけ北斎の魅力を体感したかを図る指標となるため。目標値については、開館当初に想定していた来館者数を設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	コロナ禍の影響のため、昨年度に続き、来館者数は目標を下回ったものの、メディアでの掲載数は目標を大きく上回っており、引き続き高い注目を集めている。コロナ収束に伴って来館者数を回復できるよう、継続的に魅力ある事業展開と施設の適切な管理運営に努めていく必要がある。

課題・問題点
管理運営業務は要求水準どおりに適切に実施されているが、公開承認施設の認定に向けた活動に注力する必要がある。 新型コロナウイルス感染症対処方針の変更に伴い、入館者数を回復させていくため、広報や企画展の充実を図るとともに、安定した館の運営を行っていく必要がある。

令和5年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	すみだ北斎美術館寄付キャンペーン経費		2
目的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、寄付キャンペーンを実施し、すみだと北斎のPR及び関連事業の充実を図る。		主管課・係(担当)
			文化芸術振興課文化芸術担当 03-5608-6115
対象者	北斎及びすみだ北斎美術館へ関心がある層、本区へのふるさと納税による寄付を検討している方		
根拠法令 関連計画	墨田区北斎基金条例、墨田区北斎基金寄付金取扱要綱、墨田区文化観光基金寄付金取扱要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤職員3・株式会社トラストバンク外
事業内容	すみだ北斎美術館の管理運営費、資料収集、北斎をテーマとしたアートプロジェクト経費等へ充てることを目的に寄付キャンペーンを実施している。ふるさと納税制度を活用して寄付を募集しており、返礼品にはすみだモダンをはじめとした地場産品を寄付者に送付している。		
経過	開始年度	平成27年度	終了予定 未定
	平成27年度 インターネットによる寄付募集(北斎ふるさと納税)開始 平成28年度 目標寄付金額(5億円)の達成 平成29年度 墨田区文化観光基金への寄付受入開始 令和元年度 複数のふるさと納税サイトでの寄付募集開始(ふるさとチョイス、ふるなび、楽天、さとふる) 令和2年度 ふるさと納税受付サイトを追加(セゾンのふるさと納税、ふるさとプレミアム、auPAYふるさと納税)		
議会質問 の状況	令和4年12月地域産業都市委員会 基金の主な目的は、大きくは大規模修繕に備えた修繕費と、あとは指定管理料、資料購入費になるわけだが、基金残高は今年度末で約34億円程度と推計されている。これまでの答弁では大規模改修に約34億円掛かるということで、約34億円を目指しているという答弁があったが、その考え方に変わりはないのか確認したい。 (答弁)約34億円というのは、今のすみだ北斎美術館の総工費が約34億円ということであり、基金が積み上がっていくようであればそれが一つの目安になるという旨の答弁だったと記憶している。 実際に修繕費用がどれだけ掛かるかについては、専門家等の知見も必要であり、減価償却の会計上の考え方以上のことは区では計算できない部分があるため、専門家の知見を入れ、当面、どのような経費が掛かってくるのかを整理し、基金の活用について考えていったうえで、その先にふるさと納税の運用についても考えていきたい。		
その他 特記事項	令和5年度寄付目標額:3億円		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		109,696	200,487	319,890	462,612	503,532	155,720
A.決算額(令和5年度は見込み)		72,685	177,675	300,965	399,876	449,531	155,720
財源	国						
	都						
	その他	1	1	1	1	1	1
一般財源		72,684	177,674	300,964	399,875	449,530	155,719
執行率(%)		66.3%	88.6%	94.1%	86.4%	89.3%	100.0%
B.人コスト		9,843	8,738	8,822	8,796	8,179	
総事業決算額(A+B)		82,528	186,413	309,787	408,672	457,710	
予算書P(令和5年度)	P117-118 1-4,5	執行実績報告書P(令和4年度)			P51		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	ふるさと納税業務委託料外	385,353	委託料	ふるさと納税業務委託料外	433,992	委託料	ふるさと納税業務委託料外	150,899
役務費	決済手数料料外	14,406	役務費	決済手数料料外	15,483	役務費	決済手数料料外	4,483

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	寄付キャンペーン寄付金額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		145,000	R7	目標	150,000	145,000	200,000	180,000
				実績	232,102	267,902	155,836	379,921
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	250,000	300,000	300,000	300,000			
	実績	666,577	900,254	973,521				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北斎美術館の管理運営、資料収集、展覧会事業等の充実を図るには、継続して寄付を募る必要があるため。目標値については、これまでの実績と管理運営費や資料収集等に要する費用見込みを基に設定。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	すみだ北斎美術館に対する寄付件数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3,000		R7	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	
			実績	3,752	4,222	2,544	5,409	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000		
実績	8,165	10,985	11,834					
指標の選定理由及び目標値の理由								
北斎美術館事業を推進していく上では、墨田区内外からの継続した支援（寄付）が必要であることから、目標値については、寄付件数を支援者数と考慮して設定。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和4年度は、寄付目標額を上回り、約10億円の寄付を募ることができた。引き続き、北斎美術館の管理運営、資料収集、展覧会事業等の充実を図るため寄付募集を実施する必要がある。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・北斎美術館の管理運営や北斎の資料収集等には、寄付を財源としていくため、引き続き寄付キャンペーンを継続して実施する必要がある。 ・北斎ふるさと納税の用途について、見直し検討する必要がある。

令和5年度 事務事業評価シート

施策	111	郷土の歴史・文化を継承し、発展させる	部内優先順位
事業名	大江戸すみだ職人展事業		3
目的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、作品の付加価値を高めていくことに寄与することを目的として展示会を開催する。		主管課・係（担当）
			文化芸術振興課文化行事担当 03-5608-6180
対象者	区民、区への来訪者		
根拠法令 関連計画	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤職員 3人
事業内容	<p>実施会場における職人の実演・伝統工芸品の展示のほか、訪れた方の興味を高め理解を深めてもらうため、職人や工芸品・制作品を紹介するパネルの展示、工芸体験を実施している。北斎美術館講座室MARUGEN100及び緑町公園で、大江戸すみだ職人展実行委員会と区が共催。</p> <p>産業振興課、地域教育支援課に「伝統工芸保存会」「パルティール」等への支援事業が行われているため、本事業については、平成30年度から実施場所を北斎美術館に変更したうえでプロモーションを工夫し、リピーターや愛好家、外国人旅行者も含め、より多くの人に職人の技や作品を目にもらい、関心を持ち評価してもらう事業内容とした。</p>		
経過	開始年度	平成20年度	終了予定
	<p>「すみだ匠の競演」の拡充事業として、平成20年から開催。平成20年～21年は江戸東京博物館、平成22年～23年はリバーサイドホール、平成24年～29年はすみだまち処、そして平成30年～令和3年は、外国人旅行者も含めさらに多くの方に知っていただくため北斎美術館講座室で実施した。（令和2年度は中止）</p> <p>従来、リバーサイドホールで交互に開催してきた「匠の競演」（区の直接執行事業）と「伝統工芸展」（補助金事業）について、平成20年、来場者増加の観点から、観光課の「ぶらり両国まちかど展」とのタイアップ事業としてリニューアルし、第1回目の「大江戸すみだ職人展」を江戸東京博物館で実施した。</p>		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和5年度は、区内外、国内外からの観光客の来場も見込めるため、会場である北斎美術館をはじめとした関係事業と連動してプロモーションを実施する予定		

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		1,200	1,400	0	450	950	1,150
A.決算額（令和5年度は見込み）		1,200	1,400	0	450	940	1,150
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,200	1,400	0	450	940	1,150
執行率（％）		100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	98.9%	100.0%
B.人コスト		3,937	3,495	3,495	2,913	4,907	
総事業決算額（A+B）		5,137	4,895	3,495	3,363	5,847	
予算書P（令和5年度）	118-6	執行実績報告書P（令和4年度）			P52		

令和5年度 補助金評価シート

補助金名	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金	主管課・係（担当）
根拠法令	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱	文化芸術振興課文化行事担当
補助概要	大江戸すみだ職人展を実施するにあたり必要となるPR経費や設営費への補助	03-5608-6180
目的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、市場における作品の付加価値を高めていく。	
対象	区民、区への来訪者	
基準	区独自基準	
補助条件	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱 第2条 区長は実行委員会が行う次の事業に要する経費を予算の範囲内において補助金として交付する。 （1）大江戸すみだ職人展に関する運営経費 （2）前号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業の経費	
経過	開始年度	平成20年度
	終了予定	
現在の要綱の適用以前は、「墨田区伝統手工芸作品展示会補助金交付要綱」により、当時の文化振興課と生涯学習課で1年ごとに補助金を支出していた。平成20年度から「大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱」により補助している。		
議会質問の状況		
その他特記事項	令和5年度は、区内外、国内外からの観光客の来場も見込めるため、会場である北斎美術館をはじめとした関係事業と連動してプロモーションを実施する予定	

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		1,200	1,400	0	450	950	1,150
決算額（令和5年度は見込み）		1,200	1,400	0	450	940	1,150
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,200	1,400	0	450	940	1,150
執行率（%）		100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	98.9%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区町内会へのポスター配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,700	R7	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
		実績	-	1,710	1,400			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。 令和元年度は、限られた予算の中で効果的なPRを行うべく広報活動の見直しを行った。具体的には、区民への周知については、町会・施設を中心に目に留まるポスターになるよう内容を工夫して開催告知することに注力しつつ、区広報媒体を活用することによって従来よりもコストを抑えるようにした。広報活動の見直しを行ったが、ポスター配布は継続したので、以降の活動指標を区内町会へのポスター配布数に変更した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	展示会場への来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,500	R7	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	
実績		-	874	2,282				
指標の選定理由及び目標値の理由								
展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。 平成30年度に開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館(講座室)へ変更した。従来はまち処全体の来場者数での集計であったが、美術館(講座室)のみの来場者数集計になったことと、開催期間日数の変更に伴い、令和元年度から目標値についても変更した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	実施場所やプロモーションを工夫したことで、より多くの方に関心を持っていただくことができ、参加した職人も手ごたえを感じている。来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるので、コロナ禍において、この利点を生かすことができるよう、魅力を発揮できる実施方法の見直しが必要になる。

課題・問題点
産業振興課や地域教育支援課で実施されている事業との差別化を図りながら、実施方法の一層の工夫により、老若男女、区内外を問わずより幅広い方に関心を持っていただくことが課題である。 また、今後は海外からの観光客にも訴求する魅力ある展示を工夫していく必要がある。